

I 類 B 建築（新方式）

フィールドワーク・ワークショップテーマ

令和元年 7 月施行 職員採用試験
指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題は **1 題** です。
2. フィールドワーク・ワークショップの時間は **1 時間 30 分** です。
3. この冊子と資料は持ち帰ることができます。

問 題

多摩ニュータウンは、昭和46年（1971年）に入居が始まり、今や住宅をはじめとして業務、商業、教育、文化など多様な施設が立地する多摩地域の複合拠点となっている（資料1）。

しかし、初期入居地区では入居開始から45年以上が経過し、少子高齢化や住宅、施設の老朽化など様々な課題が顕在化しており、都は、様々な主体との連携を図り、多摩ニュータウンの再生を推進している。

そこで、多摩ニュータウンの初期入居地区の一つである諏訪・永山地区の状況（資料2）を踏まえ、今後、多様な世代が豊かに暮らせる活力ある多摩ニュータウンの実現に向けて、都はどのように取り組んでいくべきか、建築技術者の視点から提案しなさい。

提案に当たっては、資料1、2を参考に、まちの構造、住宅団地の再生、少子高齢化への対応など、様々な視点から議論し、都庁内の関係者に説明することを念頭に、提案内容をホワイトボードに記しなさい。